



天皇、皇后両陛下が出席された日本学士院賞の授賞式。中央は賞を贈られる中井氏(東京・上野の日本学士院)。

学術上優れた業績を対象とした日本学士院賞の第九十八回授賞式が九日、天皇、皇后両陛下が出席され東京・上野の日本学士院で行われた。筑波大学教授で天文学者の中井直正氏(五四)、南砺市千福・城端出身、茨城県つくば市、前県衛生研究所長で理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センター長の永井美之氏(六八)、東京都ら九人に同賞が贈られた。

式典で

中井氏ら
は天皇、
皇后両陛下

に贈られた。式典で、中井氏らは天皇、皇后両陛下が出席された日本学士院賞の授賞式。

「今までにはブラックホールが確実に証明されることはなかったのですか」と熱心に質問した。

永井美之氏



礼。久保正彰日本学士院長から賞状と賞牌が贈られた。

永井氏はウイルス学を専攻し、ウイルス病原性的分子基盤を明らかにした。岐阜県出身で、平成十三年四月から五

年間、富山县衛生研究所長を務めた。

中井氏は「城端では毎晩、夜空を観測した。好きなことが賞につながり、うれしい。ブラックホールの研究はまだ途中段階であり、励みになる」と喜びをかみしめ、永井氏は「自然に恵まれ、進取の気性に富む富山で過ごした日々は貴重だった。受賞をエネルギーに、感染症対策の研究を進めたい」と語った。

中井氏(城端) 永井氏(前県衛生) 研究所長受賞